

高校日本史プリント (過去問類似)

近世 No.8

名前

得点

/10

問1 江戸時代の大坂・江戸間の海上輸送において、当初は醤油や油、木綿などの日用品を広く運んでいたが、運送スピードの遅さや運賃の高さ、さらには荷主との紛争などから、酒荷の輸送を専門としていた別の廻船にシェアを奪われ、衰退していった廻船を何というか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 菱垣廻船 2. 東廻航路 3. 五大力船 4. 西廻航路

問2 江戸時代、各地で特産物としての繊維産業が発達した。大和国の奈良晒や越後国の越後縮などは、どのような繊維を用いた織物の代表例として広く知られたか。その繊維の種類を答えよ。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 綿織物 2. 麻織物 3. 毛織物 4. 絹織物

問3 17世紀末にオランダ商館医として来日したドイツ人医師が、帰国後に日本の歴史や社会、宗教などをヨーロッパに紹介するために執筆した著作で、のちに志筑忠雄によってその一部が翻訳され、「鎖国」という訳語が誕生する契機となった書物の名称は何か。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. 日本誌 2. 日本植物誌 3. 日本 4. 日本史

問4 関ヶ原の戦い後も大坂城で勢力を保っていた豊臣秀頼が、京都の寺院の大仏殿を再建した際、その鐘に鑄込まれた「国家安康」「君臣豊楽」の銘文に対し、徳川家康が「家康の文字を分断し、豊臣を君主として楽しむものだ」と言いがかりをつけた。豊臣氏滅亡の契機となったこの事件を何というか。 (2005年 全国公立入試 類似)

1. 方広寺鐘銘問題 2. 元禄赤穂事件 3. 宇都宮釣天井事件 4. 絵島生島事件

問5 江戸幕府が整備した主要な陸上交通路の各宿駅に設置され、公用の旅行者や荷物を次の宿駅へと送るため、人馬の継ぎ立てや業務の管理を行った施設を何というか。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 一里塚 2. 問屋場 3. 旅籠屋 4. 脇本陣

問6 江戸時代初期、幕府は大名統制を厳格に行い、後継ぎのいない大名が死の直前に急に願い出る養子を禁止していた。このため、多くの大名家が改易・断絶処分となり、これが浪人の急増と社会不安をもたらす要因となった。この、死に臨んで急に願い出る養子のことを何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 家督相続 2. 末期養子 3. 養子縁組 4. 参勤交代

問7 1549年来日した宣教師が布教活動の許可を得るために山口を訪れた際、彼を保護し、布教の許可を与えた周防・長門などを領有した戦国大名は誰か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 朝倉義景 2. 今川義元 3. 毛利元就 4. 大内義隆

問8 江戸幕府が19世紀初頭に、樺太が島であることを確認した探検家などを派遣して蝦夷地やその周辺の調査を急いだ背景として、当時、日本近海への進出を強めて通商を要求するなど、幕府に強い危機感を与えていた国はどこか。 (2006年 全国公立入試 類似)

1. ジャワ 2. ロシア 3. ルソン 4. シヤム

問9 江戸時代の百姓が領主に対して負った負担のうち、田畑や屋敷地などの公定生産力を基準として課された本年貢(本途物成)に対し、山野河海の利用や副業などの諸稼ぎ、特産物などに対して課された雑税にあたる租税の名称を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 助郷役 2. 高掛物 3. 伝馬役 4. 小物成

問10 江戸時代初期の寛永期には、幕府の権威を示す絢爛豪華な建築と、朝廷や公家の洗練された美意識を示す建築が対比的に造られた。このうち、初代将軍を祀る霊廟として造営され、極彩色や彫刻を多用した権現造の代表例とされる建築物は何か。 (2004年 全国公立入試 類似)

1. 清水寺本堂 2. 日光東照宮 3. 知恩院三門 4. 修学院離宮

答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 1 菱垣廻船	大坂・江戸間の南海路では、当初は様々な日用品を運ぶ菱垣廻船が主流であった。しかし、酒を迅速に運ぶために発達した樽廻船が、そのスピードと運賃の安さを武器に、次第に菱垣廻船の扱っていた油や木綿などの日用品の輸送にも進出した。これにより、菱垣廻船は次第に圧倒され、衰退していくこととなった。
問2	答え 2 麻織物	江戸時代には農業や手工業の発達に伴い、各地で特色ある特産品が生産された。衣料の分野では、木綿の普及が進む一方で、古くから用いられていた麻を原料とする織物も特産地で発展した。大和国の奈良晒や越後国の越後縮は、代表的な麻織物として全国に流通した。
問3	答え 1 日本誌	ドイツ人医師ケンペルが著した『日本誌』は、当時の日本の実情をヨーロッパに広く紹介した。この書物の「長崎貿易制限論」の章を、通詞の志筑忠雄が『鎖国論』と題して翻訳したことで、「鎖国」という言葉が日本国内で広く使われるようになった。
問4	答え 1 方広寺鐘銘問題	関ヶ原の戦い後も大坂城に拠り強い影響力を残していた豊臣氏に対し、徳川家康は政権の安定化を図るためその排除を狙っていた。豊臣秀頼が再建した京都の方広寺の鐘に刻まれた「国家安康」「君臣豊楽」の銘文を、家康の名を呪い豊臣の繁栄を願うものと曲解して言いがかりをつけたこの事件は、豊臣氏滅亡の直接的な引き金となった。
問5	答え 2 問屋場	江戸幕府は江戸を中心とする交通網を整備し、各宿駅に公用の人馬の継ぎ立てや荷物の取り次ぎを行うための施設を設けた。この施設では、問屋や年寄などの宿役人が業務を統括し、幕府の公用伝馬制度を支えた。
問6	答え 2 末期養子	江戸幕府は当初、大名が死に臨んで急に願い出る養子を認めず、家名断絶処分（改易）を厳しく適用した。しかし、これにより発生した大量の浪人が社会の不安定化を招いたため、1651年に50歳未満などの条件付きでこの制限が緩和された。
問7	答え 4 大内義隆	16世紀半ばにキリスト教が伝来した際、宣教師フランシスコ・ザビエルは山口で周防の守護大名である大内義隆に謁見し、布教の許可と保護を得た。大内氏は日明貿易（勘合貿易）などで富を築き、京都の文化を積極的に取り入れていたことでも知られる。
問8	答え 2 ロシア	18世紀後半から19世紀初頭にかけて、ロシアは千島列島や蝦夷地近海への進出を活発化させ、ラクスマンやレザノフを通商使節として派遣するなどした。これに危機感を抱いた江戸幕府は、蝦夷地の直轄化を進めるとともに、北方の防備と地理的状況を把握するために探検家を派遣して調査を行わせた。
問9	答え 4 小物成	江戸時代の百姓は、石高を基準として領主に納める本途物成（本年貢）のほか、山野河海の利用や副業などの諸稼ぎに対して課される小物成（雑税）などを負担した。これらは本途物成が原則として米で納められるのに対し、貨幣や現物で納められることが多かった。
問10	答え 2 日光東照宮	寛永期には、幕府の権威を象徴する豪華な建築と、公家文化を背景とする簡素で洗練された建築が並び立った。初代将軍徳川家康を祀る霊廟として造営された日光東照宮は、権現造と呼ばれる様式で建てられ、極彩色の装飾や精巧な彫刻が施された陽明門などで知られる。これに対し、八条宮家の別邸として造られた桂離宮は、茶の湯の精神を取り入れた数寄屋造の代表例である。